

国名(日本語)	アラブ首長国連邦
国名(英語)	United Arab Emirates : UAE



国名の由来	アラブ(arab)は「砂の民、遊牧を行う人」という意味。7つの首長国が集まってできた連邦国家を意味する。一般に「UAE」の略称で知られている。1892年イギリスの保護領となったが、1971年にアブダビなど6つの首長国が連邦を結成して独立した。(翌72年、もう1か国が参加、現在の体制になった。)
国旗の由来	赤は聖戦によって流された尊い血と犠牲を、緑は豊かな国土を、白は清浄な生活を、黒は過去の圧政や戦争を表す。この4色の意味は、17世紀のイラクの詩人が作った詩に基づいているといわれ、現在では「アラブの色」としてアラブ・イスラム諸国でよく使用されている。
1 面積	83,600平方キロメートル
2 人口	約945万人(2014年 世界銀行)
3 首都	アブダビ
4 言語	アラビア語
5 宗教	イスラム教
6 豆知識	首都で全国土の約80%を占めるアブダビ、世界的にも発展の著しいドバイの他、シャルジャ、アジュマーン、フジャイラ、ウムアルカイワイン、および独立から1年遅れて加わったラスアルハイマの7つの首長国で構成される連邦国家。大統領はアブダビ首長、副大統領はドバイ首長が務めている。